

ソフィアシリーズ **FZ500 FZ50T**
簡易水洗トイレ FZ400 FZ40T
クリーンフラッシュ FZ300

施工説明書



施工手順を
動画で見る
(QRコードを参照)

簡易水洗トイレから
簡易水洗トイレへ



施工手順を
動画で見る
(QRコードを参照)

非水洗トイレから
簡易水洗トイレへ



施工説明書
ダウンロード

PDFデータ



もくじ

施工の前に	施工手順	施工後
● 特に注意していただきたいこと..... 2	● 便器本体の据付.....24	● 引き渡し..... 32
● 梱包内容の確認..... 4	● オーバーフロー管の接続(床接続).....24	
● 必要な工具、別途必要なもの..... 4	● オーバーフロー管の接続(壁接続).....25	
● 配管上の注意事項..... 5	● ロータンクの取付.....26	
● 標準施工図..... 6	● ロッドの接続.....26	
● 寸法図..... 7	● 止水栓位置と給水管長さの確認.....27	
● 【既設】洋風簡易水洗トイレの確認..... 8	● 給水管の接続.....28	
● 床フランジの選定..... 10	● 普通便座・暖房便座・洗浄便座の取付..... 28	
● オーバーフロー排水位置の確認..... 12	● 調整と点検..... 29	
● 施工手順.....13		
● 【新設】給排水管の位置決め.....14		
● 【既設】和式簡易水洗トイレからの取替.....15		
● 【既設】非水洗(洋式)トイレからの取替.....16		
● 【既設】非水洗(和式)トイレからの取替.....17		
● 【既設】洋式簡易水洗トイレからの取替.....18		
● 床フランジの取付①.....20		
● 床フランジの取付②.....22		

特に注意していただきたいこと

お客様に事故のないよう、施工前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ正しく施工してください。

用語および記号の説明



警告

守らないと、火災や重傷を負うことがあります。



注意

守らないと、ケガをしたり家財に損害を与えることがあります。



禁止

禁止を示す記号です。



必ず実行

必ず行うことを示す記号です。



禁止

風呂、シャワーなどの水場での使用禁止

警告



禁止

- 浴室内の水のかかる場所や表面に水滴が生じるような湿気の多い場所では、暖房便座や温水洗浄便座、凍結防止ヒーター等の電気器具は設置しないでください。火災や感電、故障の原因となります。

注意



必ず実行

- 便器の汚水配管は、必ず便槽に接続してください。簡易水洗トイレは、便槽に接続する便器です。



禁止

- この施工説明書以外の改造や修理はしないでください。火災や感電、故障や漏水の原因となります。



必ず実行

- 施工後、便器や給排水配管からの漏水がないことを点検してください。漏水すると、床が水浸しになり家財を濡らす原因となります。



必ず実行

- 給水管の接続の際、ボールタップの浮玉が上下、左右に動くことを確認してください。給水管の袋ナットを締め付けるとき、ボールタップが共回りして浮玉がタンク壁に当たり動かなくなります。その場合、水が出続けます。万一、オーバーフローしきれないときは、家財を濡らす原因となります。ボールタップを真っすぐ直し、座付ナットを締めます。



必ず実行

- オーバーフロー用排水管は、便槽に接続しないでください。便器が故障して、給水が止まらないとき便槽があふれる恐れがあります。

⚠ 注意



必ず
実行

- **オーバーフロー用排水管は、塩ビ管 VU40 又は VP30 で必ず配管してください。**

オーバーフロー用排水管の内径が 20mm より小さいと、便器が故障して給水が止まらないとき排水しきれず、床が水浸しになり家財を濡らす原因となります。



必ず
実行

- **便器は割れものです。施工前に運送破損の確認と施工時での破損がないかを点検してください。**

破損部でケガをしたり、漏水して家財を濡らす原因となります。



必ず
実行

- **床に便器を埋め込まないでください。**

修理できなくなります。本水洗切替ができなくなります。



必ず
実行

- **止水栓からロータンクのボールタップまでの給水管は、揺らしでも漏水がないよう確実に配管してください。特に、アングル止水栓で配管されるとき、給水 L 管 (サプライ管) のツバのない止水栓側の接続には注意してください。**

直圧がかかっている水道配管のため、漏水した場合、家財を濡らす原因となります。また、給水 L 管の止水栓側の差込が少ないと配管が抜け、家財を濡らす原因となります。



必ず
実行

- **便器設置部の床面は、水平にしてください。**

便器が傾くと、オーバーフローが排水しきれず、床に漏水し、家財を濡らす原因となります。また、洗浄力が弱くなる恐れがあります。



必ず
実行

- **凍結の恐れのあるときは、注意してください。**

凍結防止ヒーターの利用、ロータンクの水抜き、室内暖房など適切な処理を行ってください。

詳細は取扱説明書 P12 ▶



必ず
実行

- **電気配線は、必ず専門の電気工事店で行ってください。**

資格のない人が電気工事をするのは法的に認められていません。

※ 温水洗浄便座、凍結防止ヒーター等を取り付ける場合は、各々の説明書をお読みください。

梱包内容の確認

梱包内容をお確かめください。



便器本体



ロータンク



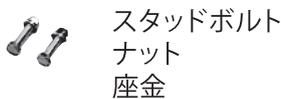
接続パイプ 20/25



床フランジ



木ねじ
カールプラグ



スタッドボルト
ナット
座金



手洗付きの場合



手洗付用フタ



手洗吐水栓



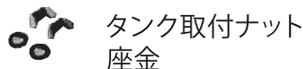
手洗なし用フタ



化粧キャップ



継ギタシ管



タンク取付ナット
座金



ワシ座

必要な工具、別途必要なもの

■ 必要な工具



(+)ドライバー又は
電動ドライバー

床フランジ取付木ねじ締め付け用



(-)ドライバー
止水栓の開閉



スパナ(13、24)又は
自在スパナ(モンキーレンチ)

スパナ(13)：スタッドボルト
のナット締め付け用

スパナ(24)：フレキシブル管
などの袋ナット締め付け用
手洗付きの場合、手洗吐水栓
の取り付け用

スパナ(27)：右給水にすると、
ボールタップ締付ナット用



プライヤー又はペンチ
又はラジオペンチ

ロッド接続の割り
ピン曲げに使用

■ 必要に応じて 準備する工具



コンクリート用ドリル(8mm)、
電気ドリル

床がコンクリートやタイルで
カールプラグを使用する場合



穴開口用のホルソー
P11等で使用

壁開口用のホルソー
P25等で使用



塩ビ管内径カッター
既設の床フランジ取り外し用



カッターナイフ
又はニッパ

継ギタシ管の切断用

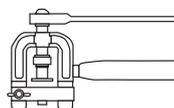


ノコギリ
既設の床フランジ
取り外し用、床開口用

止水栓の配管をきれいにしたい場合



パイプカッター
フレキシブル管の切断用



ツバ出し工具
フレキシブル管のツバ出し

■ 部材



ペーパーホルダー



シールテープ
水道管と止水栓の接続用



塩ビ管VU40
又はVP30、エルボ
オーバーフロー排水管用



塩ビ用接着剤

接続パイプを使用する
場合既設のオーバー
フロー排水管が塩ビ
パイプVP20やVP25の
とき使用します。
VP30やVU40のときは
使いません。



コーキング剤
(シリコンシーラント)
床フランジと導入管の
コーキング用



アングル止水栓又は
止水栓とフレキシブル管
トイレの元栓

配管上の注意事項

- 配管材料は、JISK6741に準じた硬質塩化ビニル管(塩ビ管)を使用してください。
肉厚：導入管・導入短管・・・2mm以上(ブロー品継手類1.6mm以上)
臭突管・・・1.5mm以上(ブロー成形品継手類1.2mm以上)
- 導入管・導入短管は、VU100を使用してください。また、それに使用する継手は、汚水の流下に支障のない形状、構造を有するものを使用してください。
段差で汚物が引っ掛かるような継手は使用しないでください。
横引きの導入管途中には、絶対にエルボを使用しないでください。
- 臭突管
次の場合は必ず臭突を設置してください。
①2階配管など汚水管の長さが1.5m以上の場合
②小便器を設置する場合
臭突管の先端には、排気トップ(臭突ファンなど)を設けてください。
排気トップは、防臭機能に支障をきたさない性能のものを使用してください。
排気トップの下端は、建物の出入り口、窓、換気口等の上端から600mm以上の高さに取り付けてください。
配管の接合部は確実に接着し、十分な耐久性と気密性を確保してください。
- 配管工事完了後、約10ℓの水を流して配管接合部からの漏水がないか確認してください。
- オーバーフロー屋外配管からの臭気上りについて(製造物責任法を考慮した注意書きについて)
オーバーフロー配管は、必ず屋外まで行ってください。また、配管にトラップを設ける等の防臭対策をしてください。
但し、凍結の恐れのある場所では、トラップ内の水やオーバーフロー管先端の凍結に十分注意して施工してください。
オーバーフロー配管は絶対に便槽に接続しないでください。便槽があふれる恐れがあります。
- 上水道を使用してください。井戸水や地下水は、機器不良の原因になりますので使わないでください。
もし使用する場合、保証対象外となります。
- 水道配管
水道配管工事は、各自治体水道局の指定店で行ってください。
- 給水条件
使用水道圧範囲：0.05MPa～0.75MPaの範囲で使用してください。
- 水道配管はしっかりと固定してください。水撃作用(ウォーターハンマー)の原因となります。
- 2階以上や地下室のある1階に設置する場合、万一のことを考えトイレルームの防水や床に排水口の設置をお勧めします。

標準施工図

■便槽の容量

1人当たり1ヶ月で約100～150ℓでご計画ください。

但し、来客や家族数が増えること、今後、洗浄便座を取り付けることを考えて少し大きめのものをご使用ください。最低でも500ℓ(NV-R5は490ℓ)以上の容量のものをご使用ください。

【例】4人家族で簡易水洗トイレを使用の場合

100ℓ/月・人×4人=400ℓ

(洗浄便座をご使用の場合は120ℓ/月・人×4人=480ℓ)

便槽サイズを調べる

家族人数や使用状況に応じた便槽容量を自動で計算します。

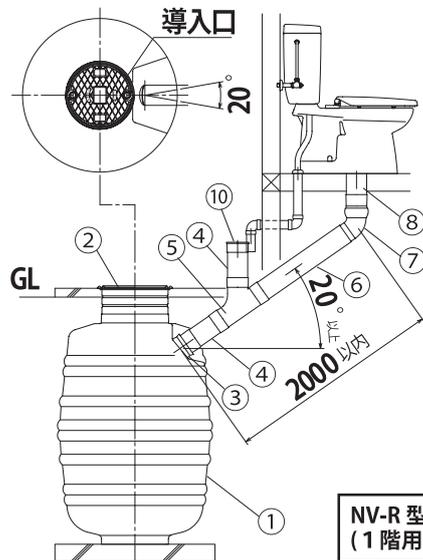


■NV-R便槽配管部品一覧

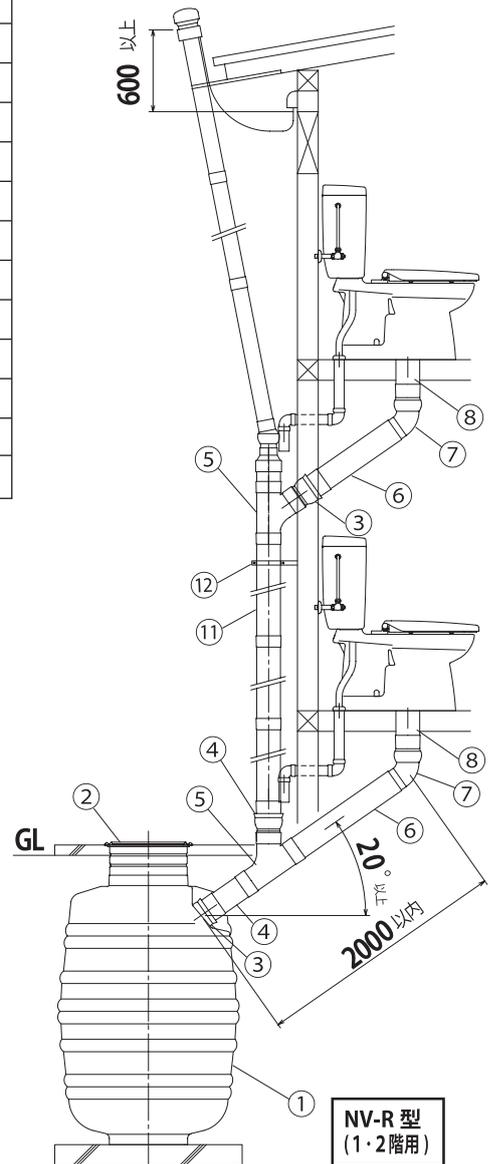
番号	品名	品番	1階専用	1・2階1次W
①	槽本体		1	1
②	マンホール(樹脂)340ロック式ノーマーク	BM340VR	1	1
③	導入自在ソケット107(R用)	B31403R	(1)	2+(1)
④	導入短管S付L22	BUS100×22	2	2
⑤	導入チーズ(R用)	B31104R	1	2
⑥	導入管L65	BU100×65	1	2
⑦	VU自在エルボ(R用)	B31302R	1	2
⑧	導入短管L30	BU100×30	1	2
⑨	導入管VU100L100	BU100×100		
⑩	導入口キャップR114	B32106	1	1
⑪	導入管S付L100	BUS100*100		3
⑫	振れ止め金具114	B32903R		1
⑬	短管VU100L5	BU100×5		2

導入自在ソケット107(R用)の(1)は、本体取付け出荷

単位: mm



NV-R型
(1階用)

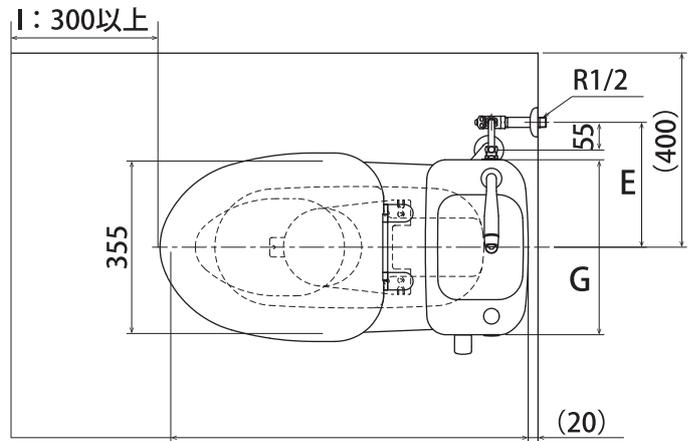


NV-R型
(1・2階用)

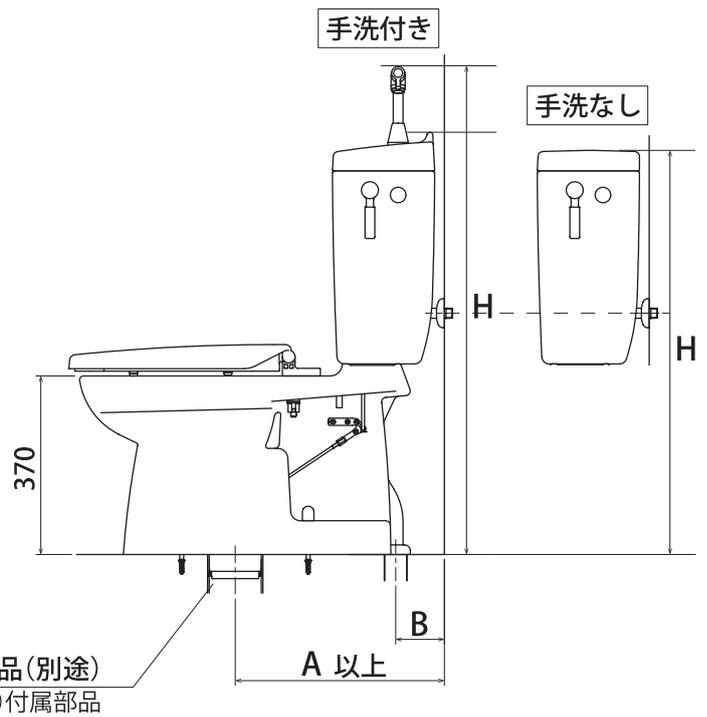
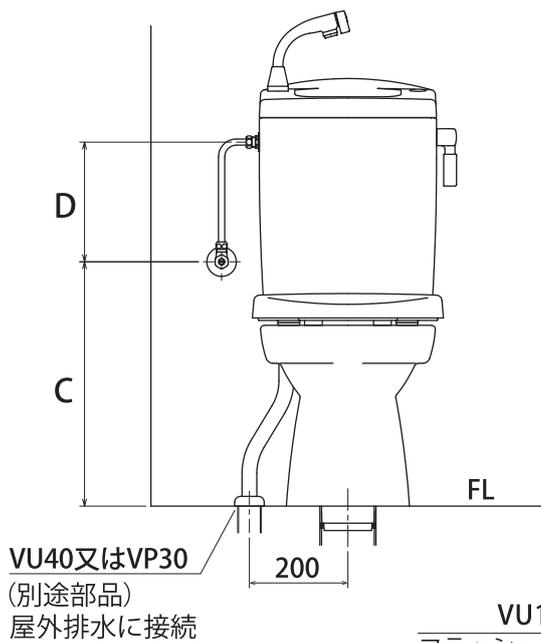
寸法図

		型式		
		FZ500/FZ50T	FZ400/FZ40T	FZ300
A		460mm	430mm	410mm
B		100mm		80mm
C		500mm		400mm
D		245mm		260mm
E		257mm		274mm
F		760mm	730mm	712mm
G		360mm		380mm
H	手洗付き	フタ上	875mm	795mm
		手洗吐水栓上	1,011mm	923mm
	手洗なし		845mm	745mm

単位：mm



F
※便器本体(陶器)先端

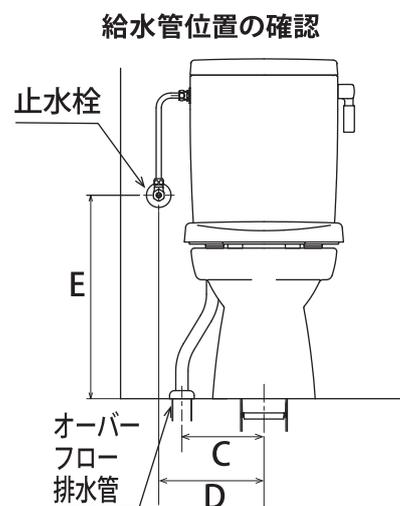
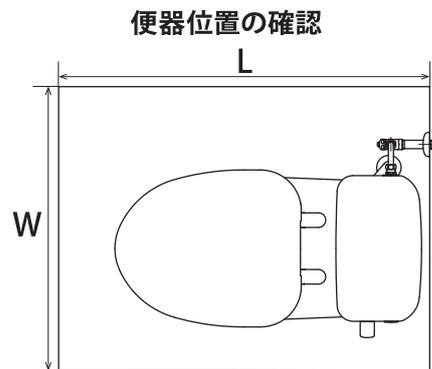


【既設】洋風簡易水洗トイレの確認

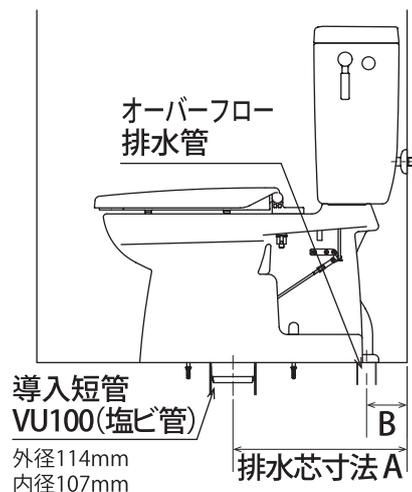
今使っている既設洋風簡易水洗トイレの寸法を確認してください。

単位:mm

		型式		
		FZ500/FZ50T	FZ400/FZ40T	FZ300
トイレの 大きさ	L	標準	1200mm以上	
		最小	1080mm	1050mm
	W	標準	800mm以上	
		最小	700mm	
排水芯寸法	A 標準	460mm以上	430mm以上	410mm以上
オーバーフロー 排水位置	B 標準	100mm以上		80mm
	C 標準	200mm以上		
止水栓位置	D 標準	257mm		274mm
	E 標準	500mm		400mm



排水芯寸法Aの確認方法



いずれかの方法で「排水芯寸法A」を確認してください。

- 便器を取り外して壁から導入短管VU100の中心までの寸法を測定します。一番正確な確認方法です。 P9を参照 ▶
- 既設便器のメーカーと型式(品番)を調べ「当社製簡易水洗トイレの排水芯寸法表」で確認します。
- 既設便器のメーカーに問合せて確認します。

当社製簡易水洗トイレの排水芯寸法表を確認する

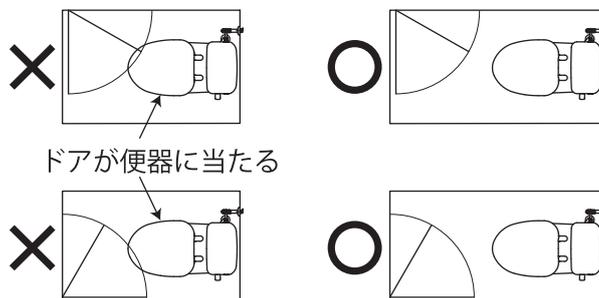


[注意]

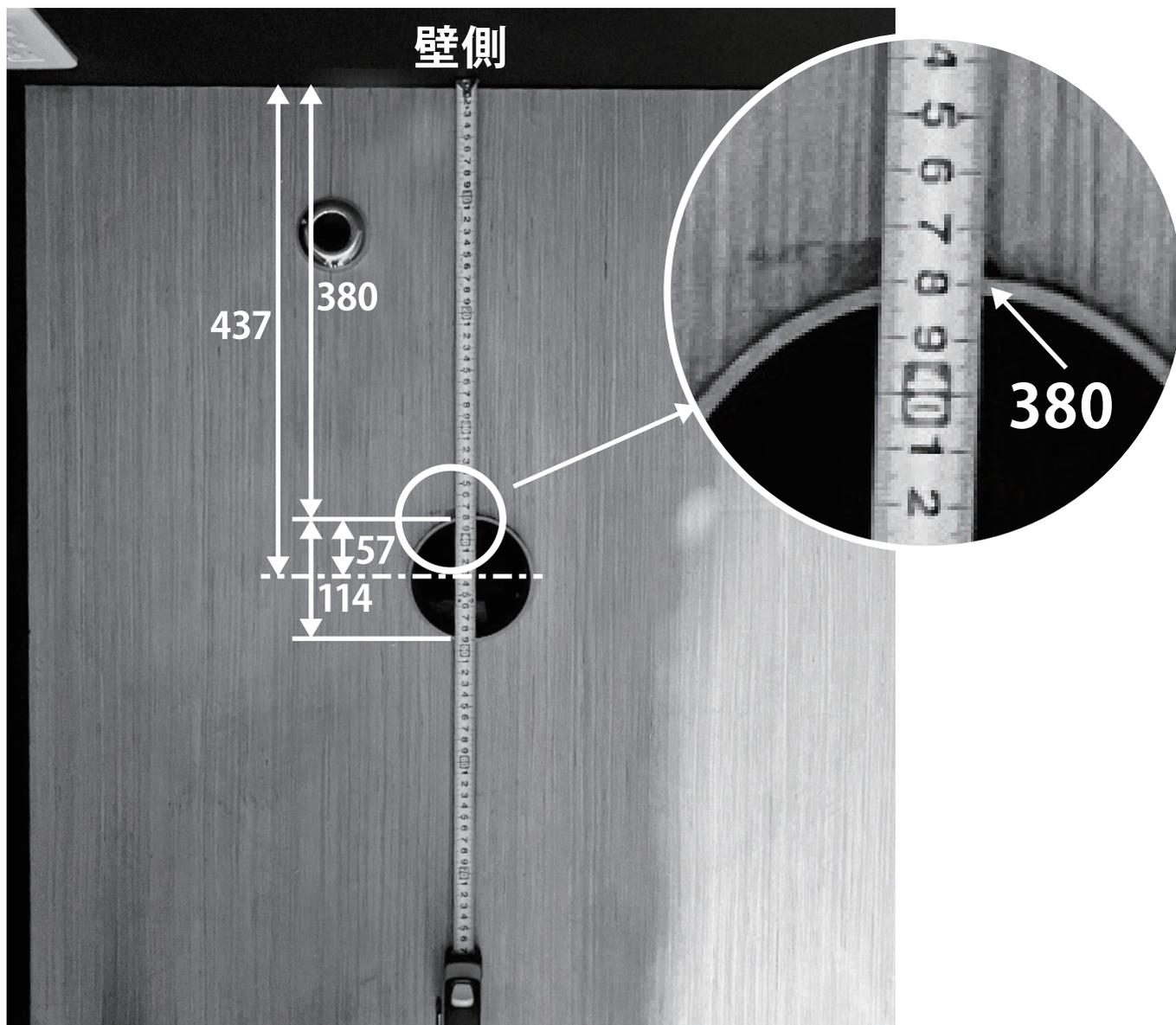
- L、Wが最小寸法よりも小さい場合は、狭いトイレ用の機種FA8、またはFGRが適しています。
- オーバーフロー排水位置と給水位置は、標準寸法以外の設置にも対応できます。

内開きドアの場合

ドアが内開きの場合は、ドアを開いた時に便器に当たらないかを必ず確認してください。



壁から導入短管 VU100 の中心までの正確な測り方



※寸法は現場によって異なります。

- ① 便器と床フランジを取り外し、導入短管 VU100 の壁から一番近い先端(外径)の寸法を読み取ります。
- ② 計算式「①寸法+57※」で、中心寸法を計算します。

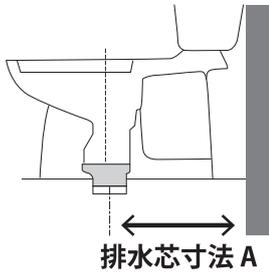
【例】 $380+57=437$ →排水芯寸法 A:437mm

※ VU100 外径 114mm の半径 ($114 \div 2=57$)

外径寸法は規格で決まっています。

床フランジの選定

既設トイレの「排水芯寸法」が標準寸法以上であれば、同梱の標準フランジで取り付けできます。また、標準寸法以下のときは、機種と床フランジを選定してください。



- ① 後ろの壁から排水管の（便槽から立ち上がっている配管）中心までの距離（排水芯寸法A）を調べます。
- ② 現場の排水芯寸法Aに合った改造フランジをお選びください。
排水管はそのまま便器の取替えができます。

床フランジ			
標準フランジ (A97411)	10・30mm	30・50mm	50・70・90mm
	改造フランジ 13 (APH-Z80)		改造フランジ 579 (APH-Z81)

■ FZ500・FZ50T のとき

現場の排水芯	460	450	430	410	390	370(mm)
標準フランジ A97411 (※標準付属品)						
改造フランジ13 APH-Z80						
		10	30			
改造フランジ579 APH-Z81						
				50	70	90

■ FZ400・FZ40T のとき

現場の排水芯	430	420	400	380	360	340(mm)
標準フランジ A97411 (※標準付属品)						
改造フランジ13 APH-Z80						
		10	30			
改造フランジ579 APH-Z81						
				50	70	90

■ FZ300 のとき

現場の排水芯	410	400	380	360	340	320(mm)
標準フランジ A97411 (※標準付属品)						
改造フランジ13 APH-Z80						
		10	30			
改造フランジ579 APH-Z81						
				50	70	90

例1) 既設の排水芯寸法 A が 400mm の場合

- FZ500を設置するには「改造フランジ579を使って70mm偏芯」させて取り付けます。
- FZ400を設置するには「改造フランジ13を使って30mm偏芯」させて取り付けます。
- FZ300を設置するには「改造フランジ13を使って10mm偏芯」させて取り付けます。

例2) 既設の排水芯寸法 A が 500mm、そのまま便器を設置するとロータンクと壁との間が開き、手前が狭くなる場合

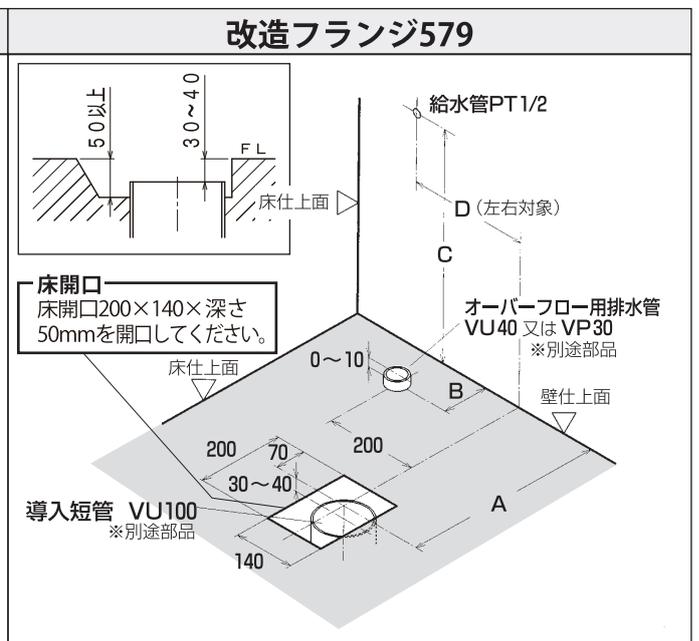
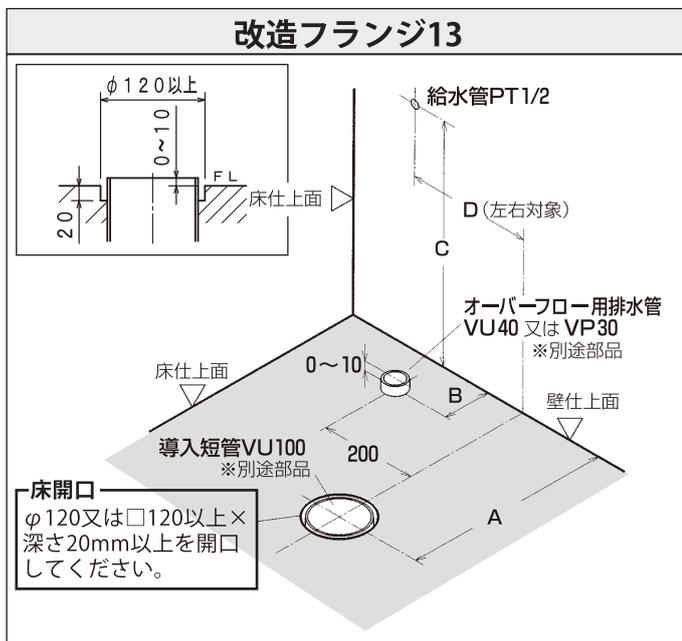
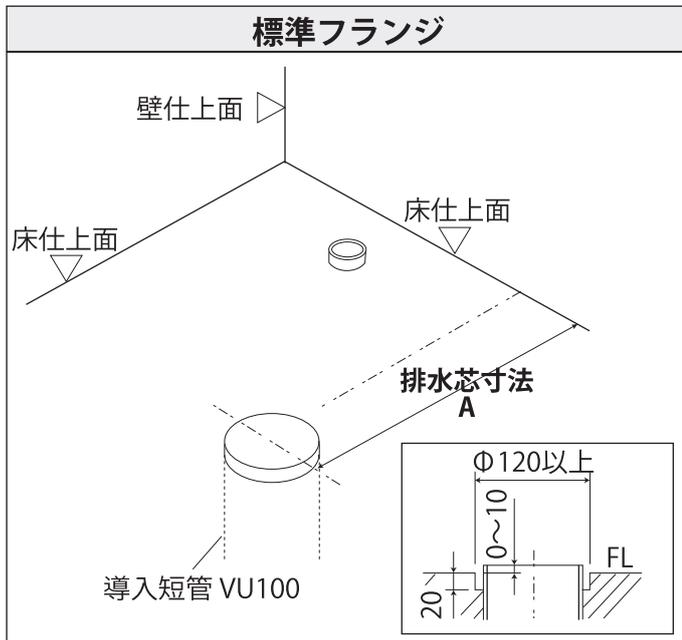
- FZ500を設置するには「改造フランジ13を反転して使用し-30mm偏芯」させて取り付けます。
- FZ400を設置するには「改造フランジ13を反転して使用し-50mm偏芯」させて取り付けます。

[注意]

- ・改造フランジをご使用になった場合、本水洗への切り替えを行う際には配管位置変更の工事が必要になります。
- ・改造フランジ579は反転できません。

床フランジの床開口

床フランジによって、床の開口が異なります。標準フランジの場合は、開口はそのままで設置できます。



[注意]

床がコンクリートやタイルの状況で、改造フランジ579をご使用になる場合、床の開口工事に専用の工具が必要となります。コンクリートドリルが無い場合は、標準フランジ、または改造フランジ13で設置できる機種をご使用ください。

オーバーフロー排水位置の確認

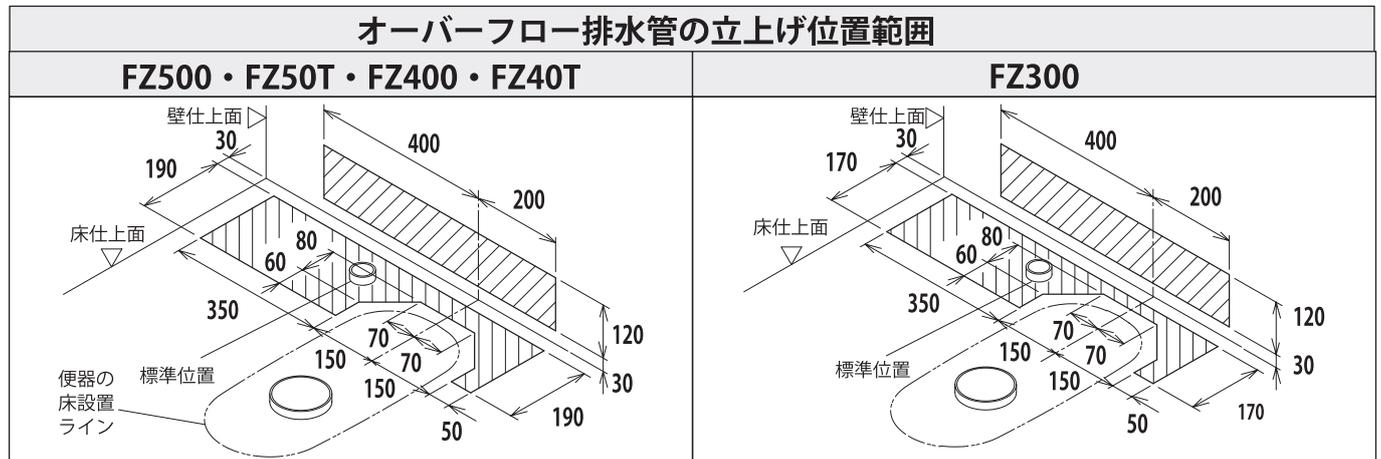
該当する手順に沿って、オーバーフロー排水管の位置を決めて施工してください。

■ オーバーフロー排水管の位置がそのまま施工できる場合

オーバーフロー排水管の位置を確認してください。

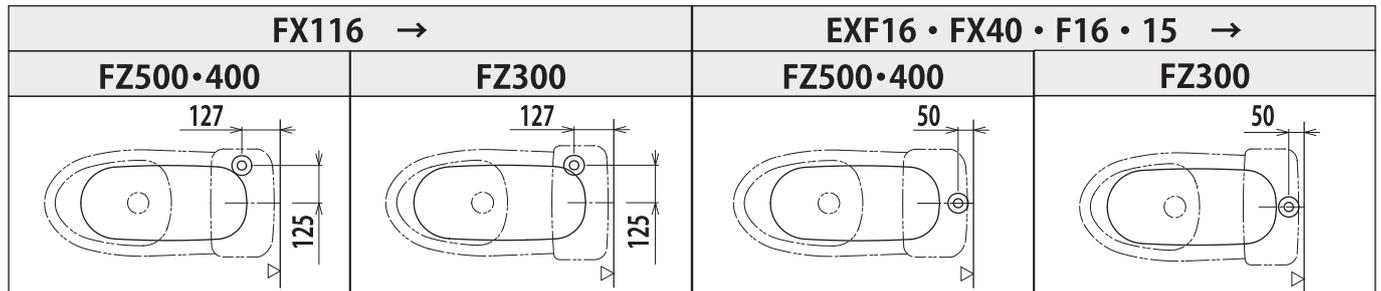
下図の斜線部の範囲内にオーバーフロー排水管の中心があれば、**そのまま施工できます。**

※オーバーフロー排水管：塩ビ管VU40(外径φ48 内径φ44)又はVP30(外径φ38 内径φ31)



既設のオーバーフロー排水管の塩ビ管サイズが、VP25(外径φ32 内径φ25)やVP20(外径φ26 内径φ20)のとき、付属の接続パイプで施工してください。

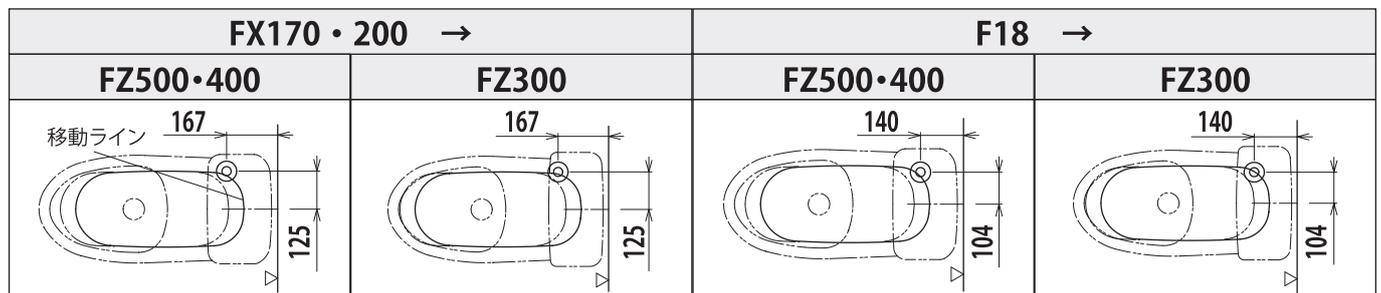
ダイワ化成の旧商品のオーバーフロー排水管の標準位置



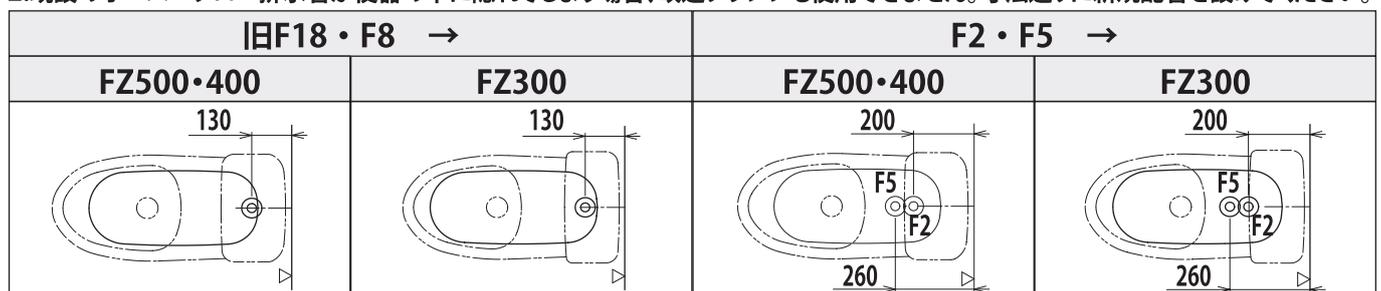
■ オーバーフロー排水管の位置が合わない場合

下記のいずれかを選定してください。

1.既設のオーバーフロー排水管が便器に当たる場合「改造フランジ」を使って便器を手前に移動してください。



2.既設のオーバーフロー排水管が便器の中に隠れてしまう場合、改造フランジも使用できません。寸法通りに新規配管を設けてください。



施工手順

施工の種類によって下記の施工手順の流れに沿って施工してください。

【新設】トイレ

【既設】トイレからの取替（リフォーム）

FZ500 FZ400 FZ300
FZ50T FZ40T

和式簡易水洗トイレ

非水洗トイレ

洋式簡易水洗トイレ



【新設】
給排水管の
位置決め
……………P14

【既設】
和式簡易水洗
トイレからの取替
……………P15

【既設】
非水洗（洋式）
トイレからの取替
……………P16

【既設】
非水洗（和式）
トイレからの取替
……………P17

【既設】
洋式簡易水洗
トイレからの取替
……………P18

共通の施工手順

- 床フランジの取付 ① P20
- 床フランジの取付 ② P22
- 便器本体据付 P24
- オーバーフロー管の接続（床接続） P24
- オーバーフロー管の接続（壁接続） P25
- ロータンクの取付 P26
- ロッドの接続 P26
- 止水栓位置と給水管長さの確認 P27
- 給水管の接続 P28
- 普通便座・暖房便座・洗浄便座の取付 P28
- 調整と点検 P29
- 引き渡し P32

【新設】給排水管の位置決め

トイレ新設の場合に参照してください。リフォームは、15ページ以降を参照してください。

新築や増築で新たに配管する場合の施工手順です。下記の施工手順の流れに沿って施工してください。導入短管・オーバーフロー排水管・給水管の位置を決めます。

FZ500・FZ50T	FZ400・FZ40T	
<p>壁仕上面</p> <p>給水管PT 1/2 (呼び径13)</p> <p>257 (左右対称)</p> <p>500</p> <p>オーバーフロー用排水管 塩ビ管VU40又はVP30 ※別途部品</p> <p>床仕上面 0~10</p> <p>100</p> <p>200</p> <p>460以上</p> <p>0~10</p> <p>導入短管 VU100 ※便槽部品(別途)</p>	<p>壁仕上面</p> <p>給水管PT 1/2 (呼び径13)</p> <p>257 (左右対称)</p> <p>500</p> <p>オーバーフロー用排水管 塩ビ管VU40又はVP30 ※別途部品</p> <p>床仕上面 0~10</p> <p>100</p> <p>200</p> <p>430以上</p> <p>0~10</p> <p>導入短管 VU100 ※便槽部品(別途)</p>	
<p>壁仕上面</p> <p>給水管PT 1/2 (呼び径13)</p> <p>274 (左右対称)</p> <p>400</p> <p>オーバーフロー用排水管 塩ビ管VU40又はVP30 ※別途部品</p> <p>床仕上面 0~10</p> <p>80</p> <p>200</p> <p>410以上</p> <p>0~10</p> <p>導入短管 VU100 ※便槽部品(別途)</p>	<p>床給水の場合</p> <p>FZ500・FZ50T・FZ400・FZ40T</p> <p>給水管PT1/2 (呼び径13)</p> <p>95</p> <p>257 (左右対称)</p> <p>100</p> <p>150~200</p>	<p>立ち上がり、真直に立ち上げる。斜めに取り付くと臭気漏れの原因となります。</p> <p>副木等で固定します。</p>
<p>FZ300</p> <p>給水管PT1/2 (呼び径13)</p> <p>78</p> <p>274 (左右対称)</p> <p>80</p> <p>150~200</p>		

❗必ず実行

オーバーフロー用排水管は、塩ビ管VU40又はVP30で必ず配管してください。オーバーフロー用排水管の内径が20mmより小さいと、便器が故障して給水が止まらないとき排水しきれず、床が水浸しになり家財を濡らす原因となります。

20ページの「床フランジの取付 ①」へすすんでください。

【既設】和式簡易水洗トイレからの取替

はじめに10ページ以降の「床フランジの選定」「オーバーフロー排水位置の確認」を確認してください。

1. 既設便器の撤去

- ①給水管を取り外してください。
- ②ロータンクの水を抜いてください。
- ③洗浄管を取り外してください。
- ④ロータンクを取り外してください。
- ⑤便器を取り外してください。



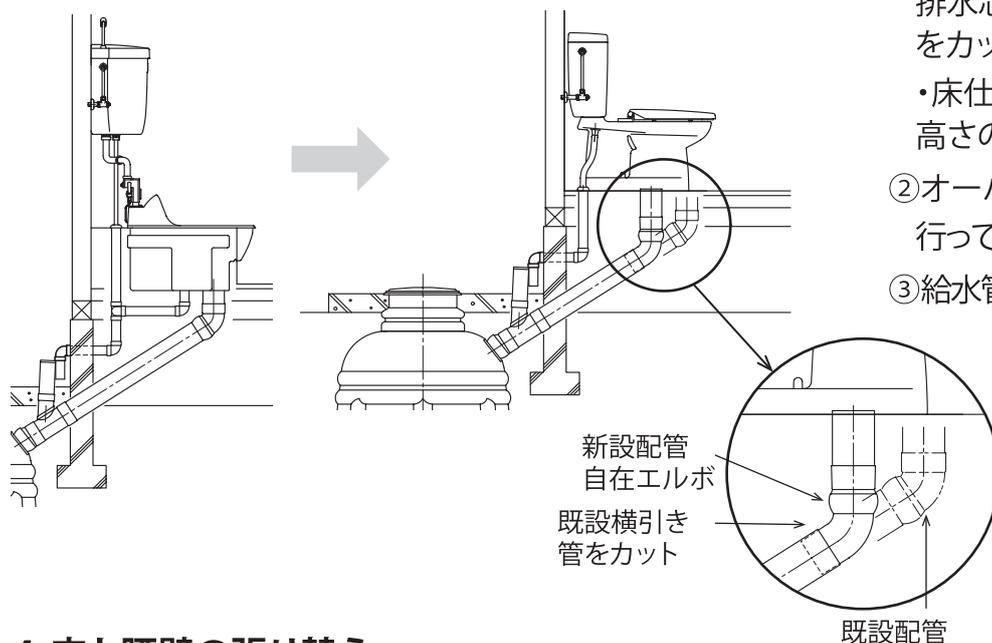
2. 床と腰壁の撤去

- ①床と腰壁を撤去してください。
- ②施工枠のフランジと導入短管の接続を外してください。
- ③施工枠を取り外してください。

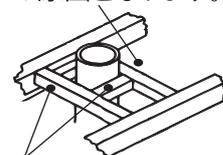


3. 配管工事

- ①導入短管VU100の立上り位置と高さを確認してください。
 - ・壁から導入短管中心位置（排水芯寸法A）の確認
 排水芯寸法Aに合わせて横引き管をカットし立上げ直してください。
 - ・床仕り面からの導入短管立上り高さの確認
- ②オーバーフロー排水管の配管を行ってください。VU40又はVP30
- ③給水管位置の確認をしてください。



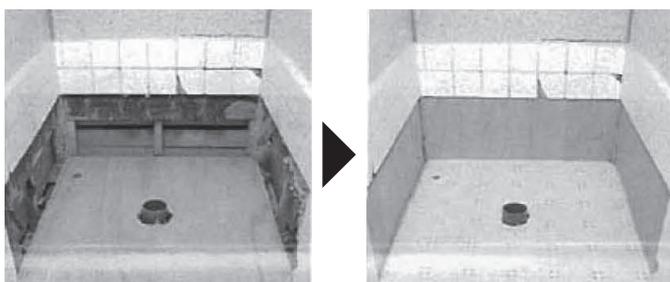
立ち上がり、真直に立ち上げる。斜めに取り付くと臭気漏れの原因となります。



副木等で固定します。

4. 床と腰壁の張り替え

下地、仕上材を張ってください。



！必ず実行

オーバーフロー用排水管は、塩ビ管VU40又はVP30で必ず配管してください。

オーバーフロー用排水管の内径が20mmより小さいと、便器が故障して給水が止まらないとき排水しきれず、床が水浸しになり家財を濡らす原因となります。

20 ページの「床フランジの取付 ①」へすすんでください。

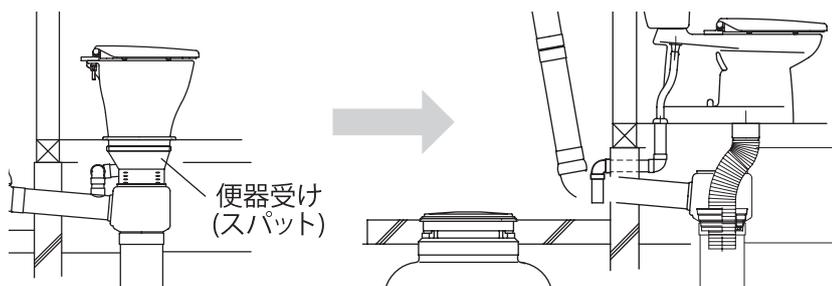
【既設】非水洗（洋式）トイレからの取替

はじめに10ページ以降の「床フランジの選定」「オーバーフロー排水位置の確認」を確認してください。

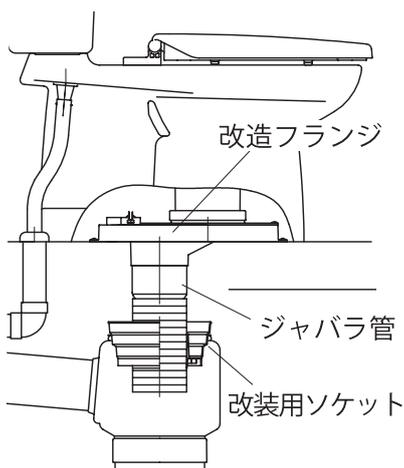
1. 既設便器の撤去

- ①便器を取り外してください。
- ②便器受け(スパット)を取り外してください。

施工手順を
動画で見る
(QRコードを参照)



■改造フランジと併用



2. 汚水配管

改造部品ジャバラセットB又は改造部品ジャバラセットCを使って無臭便槽配管と床フランジを接続してください。

改造フランジと併用することで偏芯量が少なくなり施工しやすくなります。

■交換部品



改造部品ジャバラセット B
BCV24



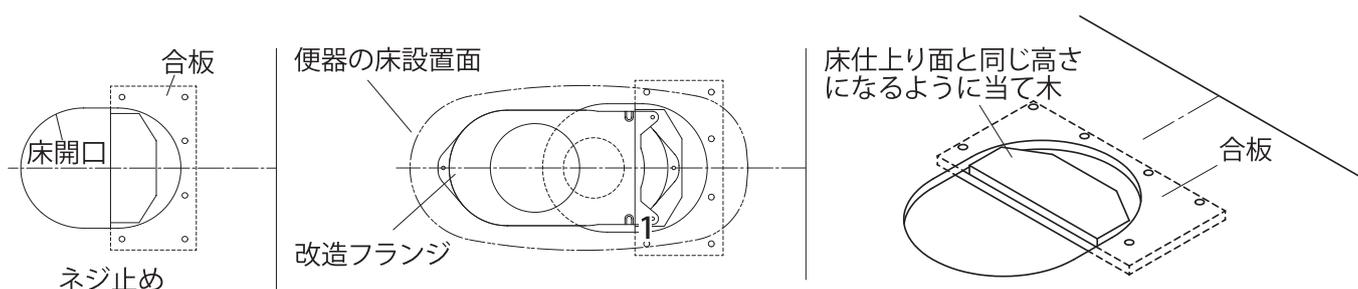
改造部品ジャバラセット C
BCV25

！必ず実行

便器の汚水配管は、必ず便槽に接続してください。簡易水洗トイレは、便槽に接続する便器です。

3. 床の工事

床の撤去、張り替えを行ってください。又は、FZ500は、洋式非水洗便器の床開口が便器内に隠れます。床開口の位置によっては、改造フランジを使えば床工事が不要になります。但し、フランジを床に固定するための合板を取り付けてください。



20 ページの「床フランジの取付 ①」へすすんでください。

【既設】非水洗（和式）トイレからの取替

はじめに10ページ以降の「床フランジの選定」「オーバーフロー排水位置の確認」を確認してください。

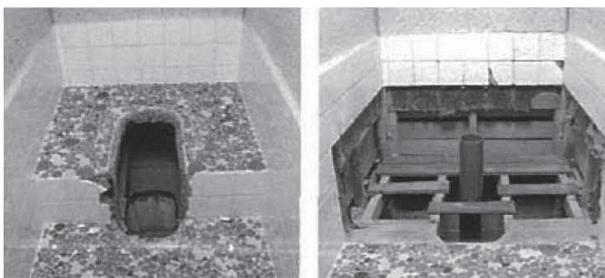
1. 既設便器の撤去

- ①便器を取り外してください。
- ②便器受け(スパット)を取り外してください。

施工手順を
動画で見る
(QRコードを参照)



2. 床と腰壁を撤去してください。

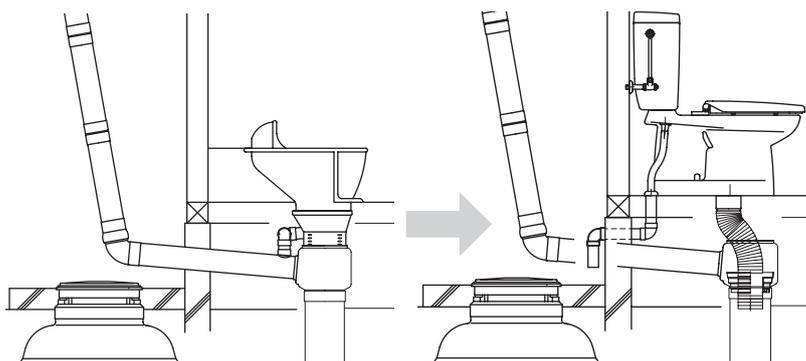


3. 給排水配管

① 汚水配管

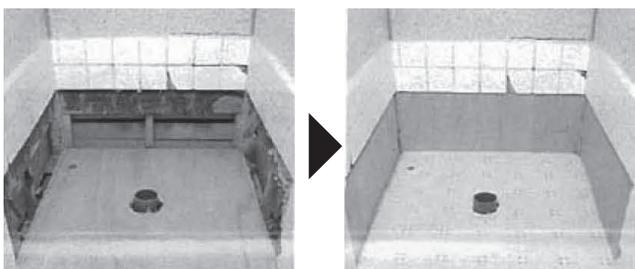
改装部品ジャバラセットB又はCを使って無臭便槽配管と床フランジを接続してください。改造フランジと併用することで偏芯量が少なくなり施工しやすくなります。

- ②オーバーフロー排水管の配管を行ってください。 VU40又はVP30
- ③給水配管を行ってください。



4. 床と腰壁の張り替え

下地、仕上材を張ってください。



！必ず実行

- 便器の汚水配管は、必ず便槽に接続してください。
簡易水洗トイレは、便槽に接続する便器です。
- オーバーフロー用排水管は、塩ビ管VU40又はVP30で必ず配管してください。
オーバーフロー用排水管の内径が20mmより小さいと、便器が故障して給水が止まらないとき排水しきれず、床が水浸しになり家財を濡らす原因となります。

20 ページの「床フランジの取付 ①」へすすんでください。

【既設】洋式簡易水洗トイレからの取替

はじめに8ページ以降の「【既設】洋風簡易水洗トイレの確認」「床フランジの選定」「オーバーフロー排水位置の確認」を確認してください。



1. 既設便器の撤去

リフォームの場合、既設便器を取り外してください。

施工手順を
動画で見る
(QRコードを参照)



■ 撤去手順



- ① 止水栓を閉めてください。
- ② 便座とタンクフタを外してください。ロータンの水を抜いてください。
- ③ 給水管を外し、ロータンクを外してください。プラスチック製のロータンクは取り外さなくても作業できます。
- ④ 便器を外してください。
- ⑤ 床フランジを外してください。

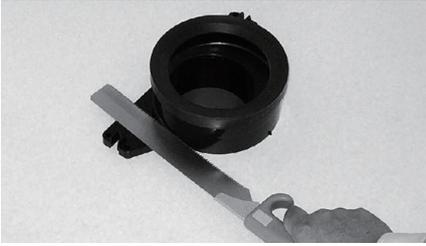
■ 床フランジの取り外し方

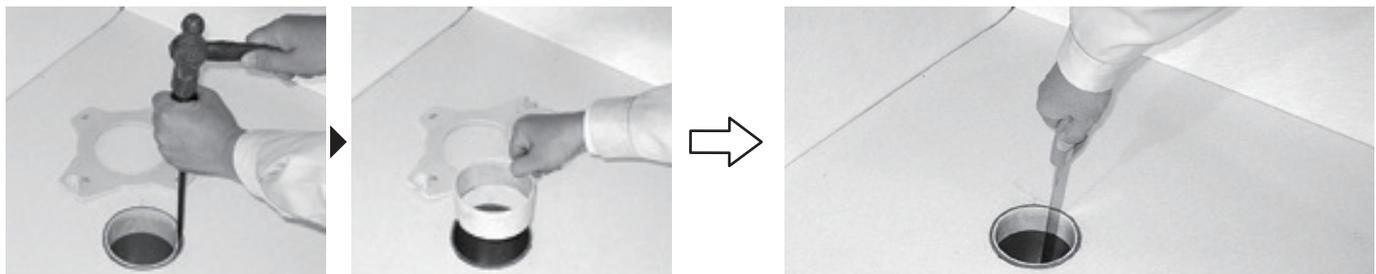
既設便器の床フランジが接着されていてそのまま取り外せないとき、次の方法で外してください。



- ① マイナスドライバーやボールを床フランジと床の間に差し込んで床フランジを持ち上げるようにこねてください。それでも外れないときは、ハンマーで回転方向に叩いて外してください。
- ② 塩ビ管内径カッター（インナーカッター）をお持ちの方は、塩ビ管の内側から床フランジを床面で切断してください。塩ビ管の内側に残った部分は、④の手順で取り除いてください。

③ ①で外れない、または②をお持ちでない方は、以下の手順で行ってください。
機種やメーカーによって取り外し方が異なります。横からノコギリで床フランジを切断します。

クリーンフラッシュ F2・F5 他社品	クリーンフラッシュ F18・FX30・FX40・EX-F16・ FX116・FX200・FX170・E16X・ F8DG・F8CAG	クリーンフラッシュ F15・F16・F8・F8C・旧 F18・ EX-F16
<p>マイナスドライバーを床フランジの下に入れ、持ち上げるようにして切断します。</p> <p>[注意] 床をキズ付けないように注意してください。</p> 		



④ 導入短管 VU100 の内側にある残材をマイナスドライバーとハンマーで取り外します。

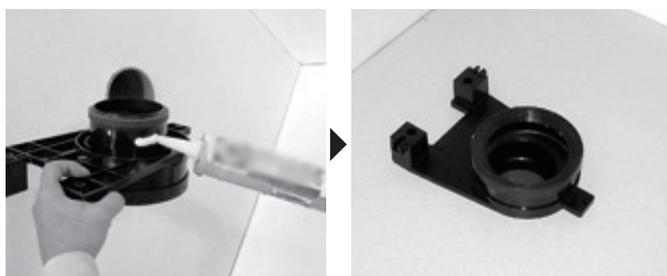
外れない時は、縦にノコギリで切れ目を数箇所入れて外してください。

[注意]

塩ビ管が欠けたり割れたりした場合、漏水や臭気漏れしないように補修してください。

[注意]

塩ビ管まで切らないように注意してください。



⑤ 新しい床フランジにコーキング剤を塗布して取り付けてください。塗布量は、全周太さ 5 ～ 10mm 程度

[注意]

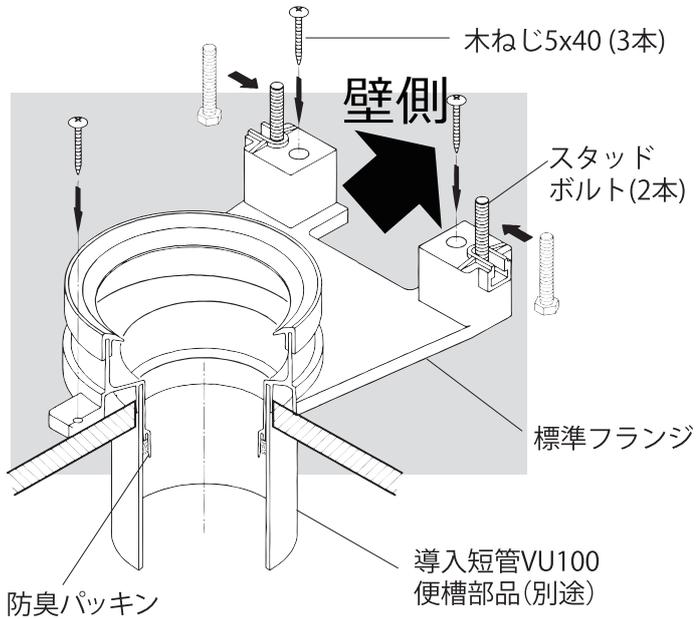
既設の便器が和式の場合は、15 ページの「和式簡易水洗トイレからの取替」から行ってください。

20 ページの「床フランジの取付 ①」へすすんでください。

床フランジの取付 ①

標準フランジ又は改造フランジを床に取り付けてください。

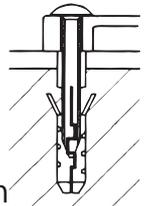
■ 標準フランジ



- ① 図の向きで導入短管VU100に取り付け、木ねじ5×40で3ヶ所固定します。
- ② スタッドボルトを横からスライドさせ、2本取付けます。

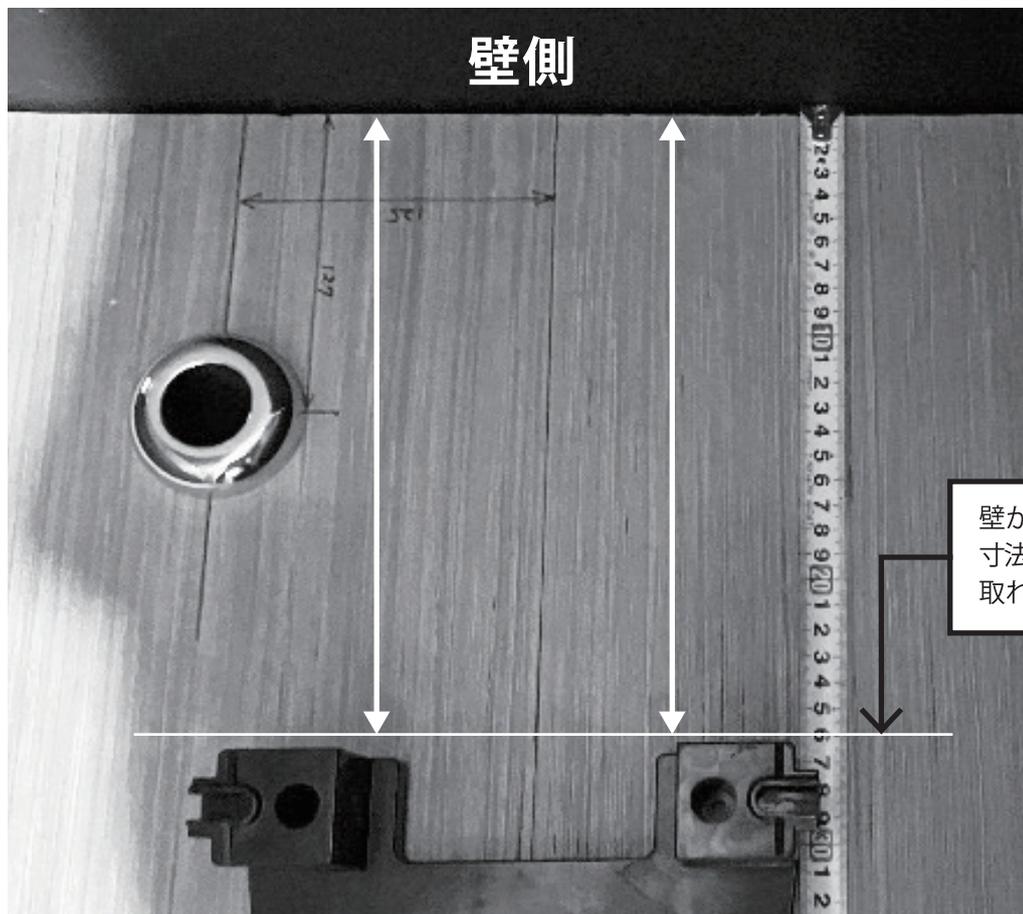
コンクリート床の場合
同梱のカールプラグ
8x40をご使用ください。

下穴8mm



■ 設置時の注意

壁平行

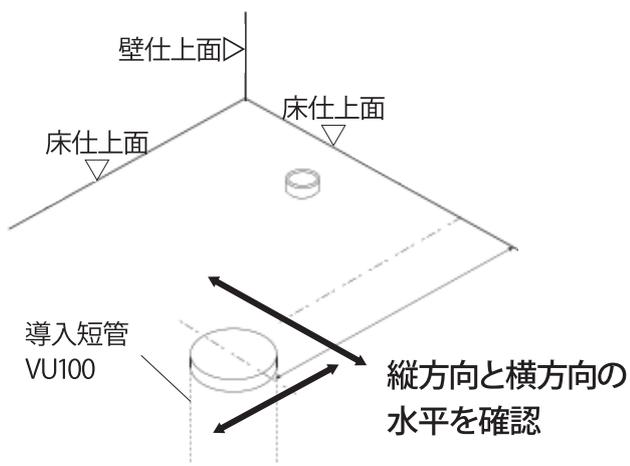


壁から床フランジ両端が同じ寸法になるようにすると、平行が取れます。

[注意]

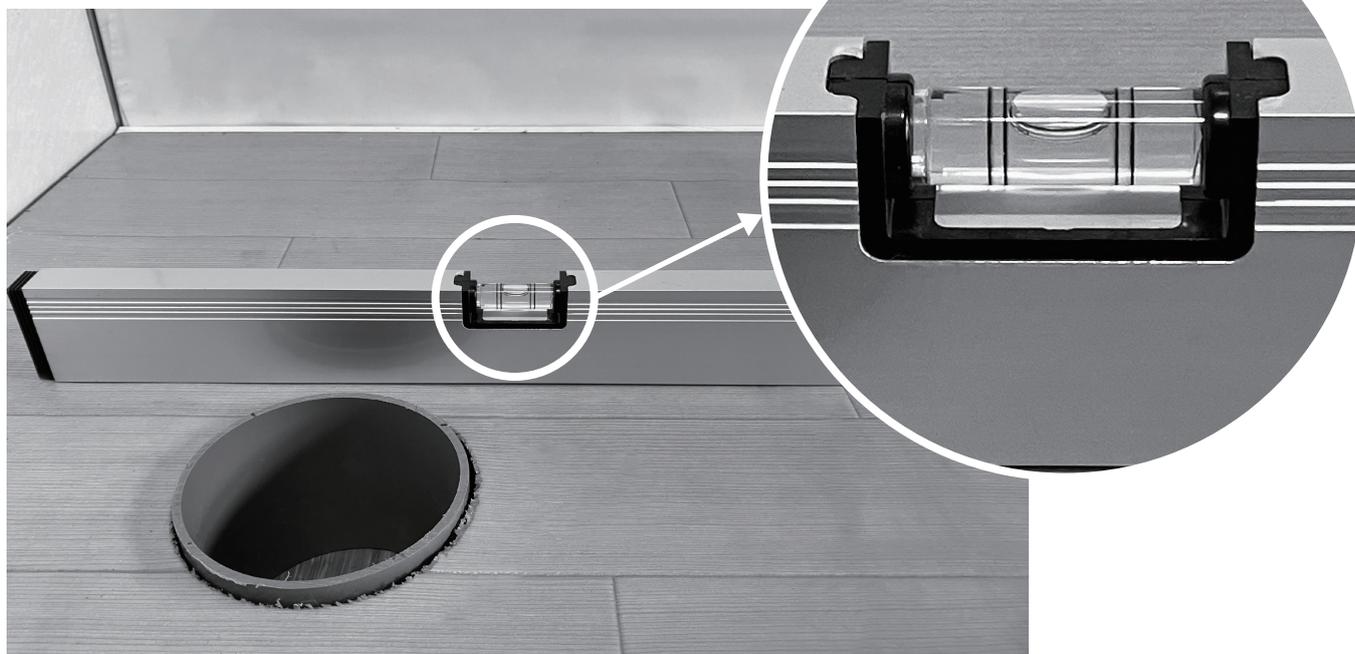
床フランジは壁に対し平行に取り付けてください。平行でないと、便器が正しく設置できない場合があります。

床水平

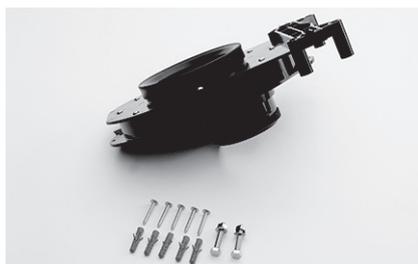


！必ず実行

便器設置部の床面は、水平にしてください。
便器のガタツキや洗浄不良の原因となります。



■ 別売品



改造フランジ 13
APH-Z80 (FZ シリーズ用)



改造フランジ 579
APH-Z81 (FZ シリーズ用)

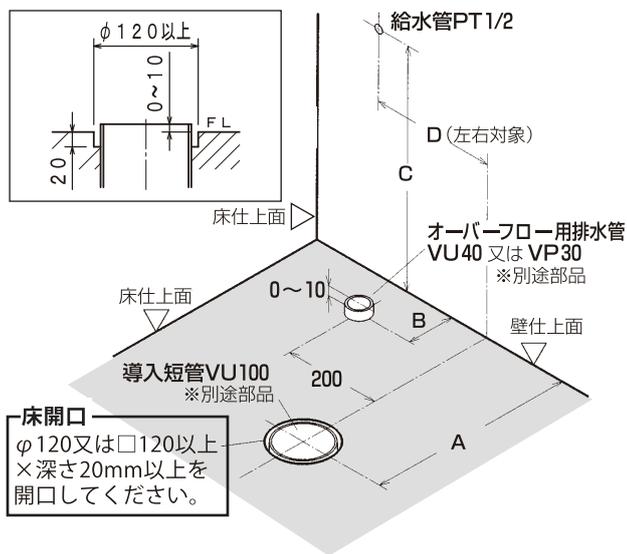
改造フランジの取付は、P22 または P23 を参照してください。

床フランジの取付 ②

改造フランジ13 施工説明書

■ 給排水管の位置決めと改造フランジの取付

① 導入短管VU100・オーバーフロー用排水管・給水管の位置を決めてください。



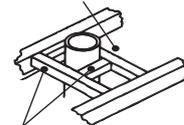
通常使用時(工場出荷時)

	A		B	C	D
	-10mm 偏芯	-30mm 偏芯			
FZ500	450	430	100	500	257
FZ400	420	400	100	500	257
FZ300	400	380	80	400	274

反転使用時(フランジ下を反転して逆側に偏芯する場合)

	A		B	C	D
	+30mm 偏芯	+50mm 偏芯			
FZ500	490	510	100	500	257
FZ400	460	480	100	500	257
FZ300	440	460	80	400	274

立ち上がり、真直に立ち上げる。斜めに取り付くと臭気漏れの原因となります。



副木等で固定します。

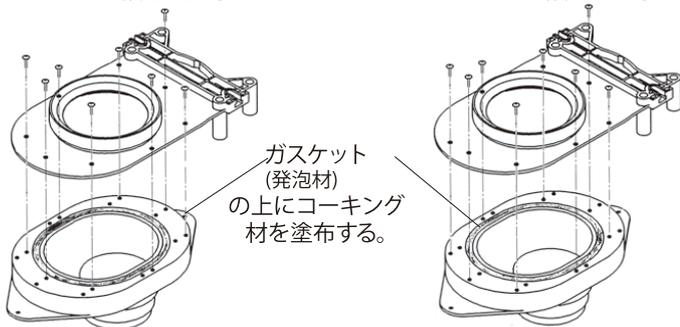
[注意]

便器設置部の床面は、レベルを出して水平にしてください。水平でないと便器のガタツキの原因となります。

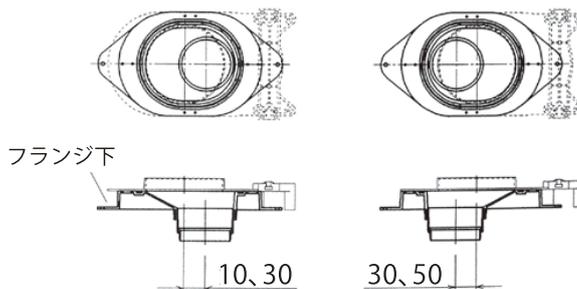
② 改造フランジの偏芯量を決めてください。偏芯量を決めた後、漏水防止として、フランジ上と下の間にコーキング材(シリコンシーラント)を全周充填してからタッピングネジ4×12(8本)を止めてください。床の平面が出ていないときフランジが反って漏水する恐れがあります。

10mm偏芯の時

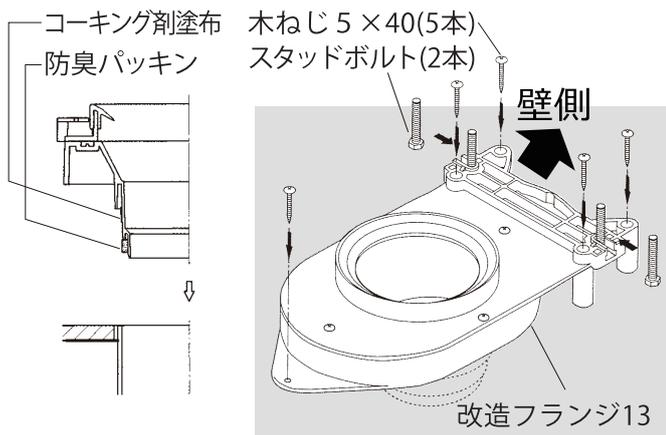
30mm偏芯の時



改造フランジ13は、フランジ下を反転すれば、逆方向にも偏芯できます。



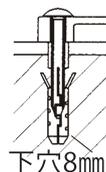
③ 改造フランジを取り付けてください。



1. 図の向きで取付け、木ねじ5×40で4ヶ所固定します。
2. スタッドボルトを横からスライドさせ、2本取付けます。

コンクリート床の場合

同梱のプラグ 8×40をご使用ください。



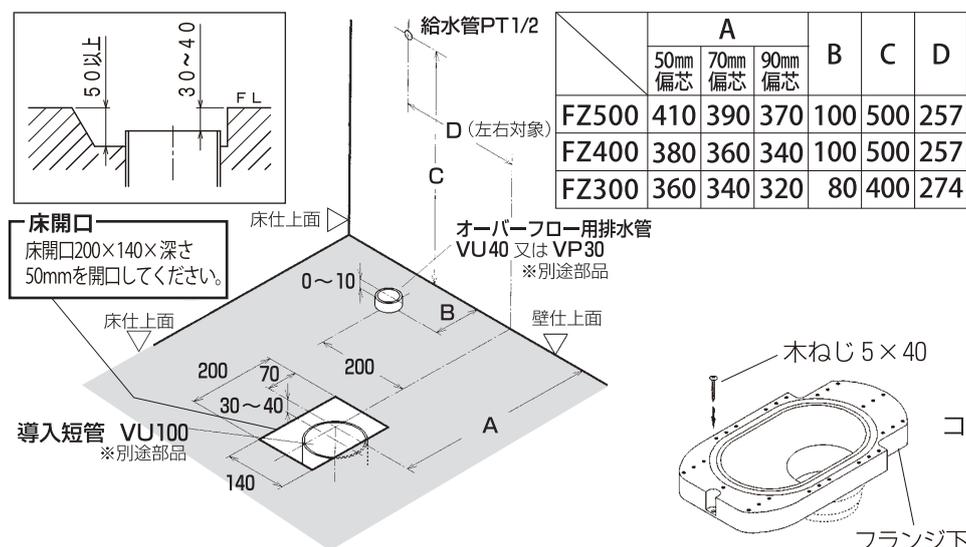
[注意]

・フランジの取付向きにご注意ください。
 ・**フランジと導入管の間は、確実にコーキングしてください。**不十分ですと臭気漏れの原因となります。

改造フランジ579 施工説明書

■ 給排水管の位置決めと改造フランジの取付

① 導入短管VU100・オーバーフロー用排水管・給水管の位置を決めてください。



立ち上がり、真直に立ち上げる。斜めに取り付くと臭気漏れの原因となります。

副木等で固定します。

② フランジ下を取り付けてください。

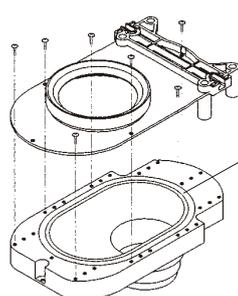
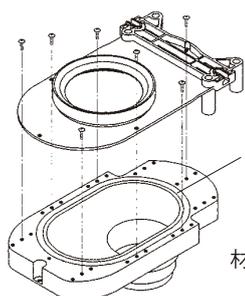
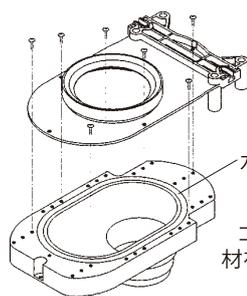
③ 改造フランジの偏芯量を決めてください。偏芯量を決めた後、漏水防止として、フランジ上と下の間にコーキング材(シリコンシーラント)を全周充填してからタッピングネジ4×12(7本)を止めてください。床の平面が出ていないときフランジが反って漏水する恐れがあります。

[注意]
便器設置部の床面は、レベルを出して水平にしてください。水平でないと便器のガタツキの原因となります。

50mm偏芯の時

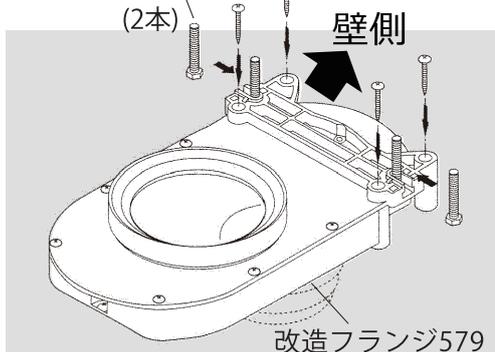
70mm偏芯の時

90mm偏芯の時



④ 改造フランジを取り付けてください。

スタッドボルト(2本) 木ねじ 5×40(4本)



1. 図の向きで取付け、木ねじ 5×40で4ヶ所固定します。
2. スタッドボルトを横からスライドさせ、2本取付けます。

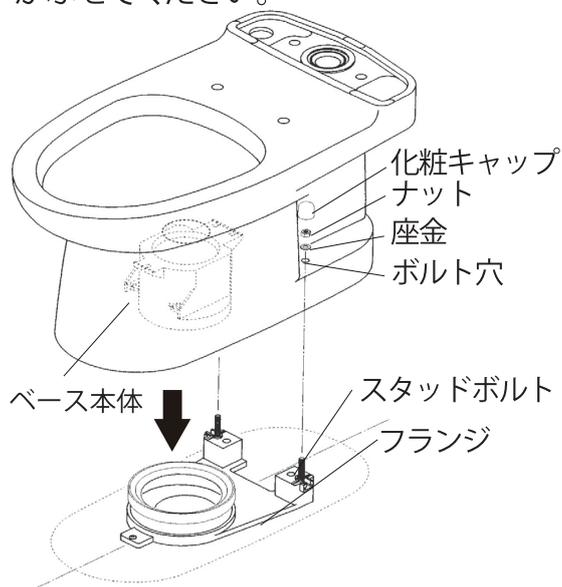
[注意]
改造フランジ 579 は改造フランジ 13 のように反転できません。

コンクリート床の場合
同梱のプラグ 8×40をご使用ください。
下穴8mm

[注意]
・フランジの取付向きにご注意ください。
・**フランジと導入管の間は、確実にコーキングしてください。**
不十分ですと臭気漏れの原因となります。

便器本体の据付

便器を持ち上げて、スタッドボルトとボルト穴を合わせながらベース本体をフランジの中に差し込みます。便器が確実に据え付けられたことを確認してから座金を入れ、ナットを締め付け、化粧キャップをかぶせてください。



【注意】

- ベース本体を確実にフランジに差し込んでください。不十分だと臭気漏れや便器のガタツキの原因となります。
- ベース本体とフランジを接着したり、便器をモルタル等で埋め込んだりしないでください。メンテナンスができなくなります。
- ナットを締め付けるとき、締め付け過ぎに注意してください。陶器が割れる恐れがあります。

【注意】

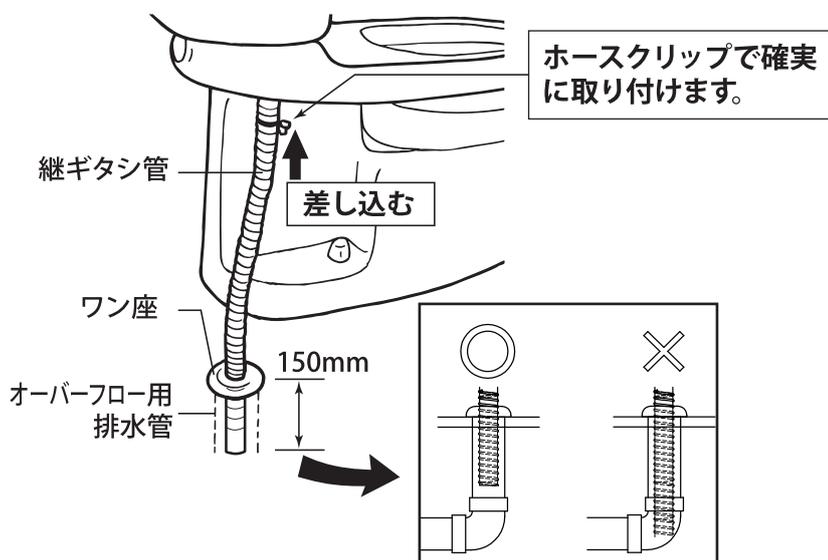
便器本体の据え付け後、水平であることを確認してください。水平でない場合、床フランジが正しく取付できていない可能性があります。



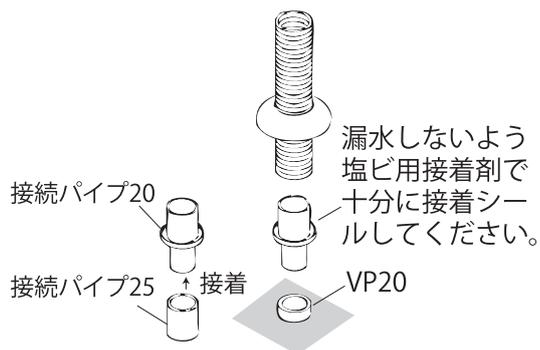
オーバーフロー管の接続（床接続）

継ギタシ管を便器に差し込み、ホースクリップで止めてください。

次に、継ギタシ管を必要な長さに切断し、ワン座を入れて、オーバーフロー排水管に差し込んでください。



既設のオーバーフロー排水管がVP20又はVP25で配管されている場合、附属部品の接続パイプをご利用ください。



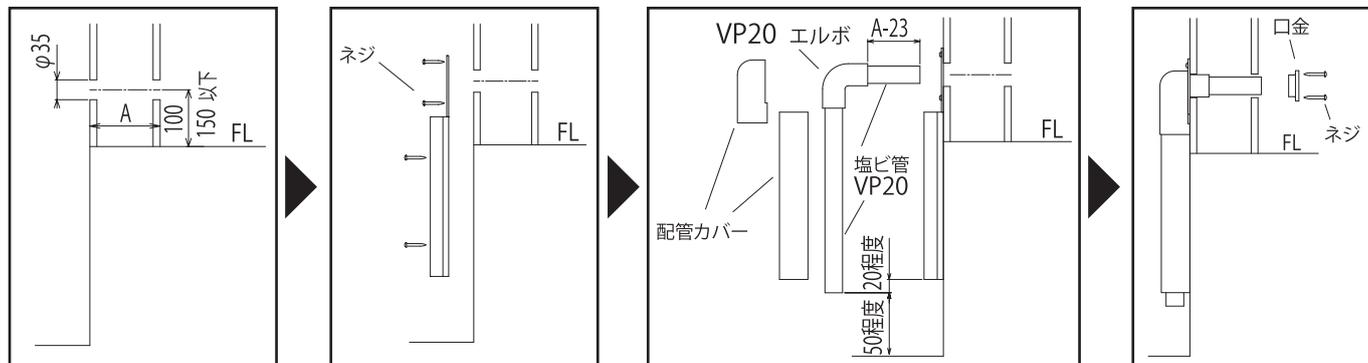
VP25の時は、接続パイプ25を接続パイプ20に接着取付して使用ください。

オーバーフロー管の接続（壁接続）

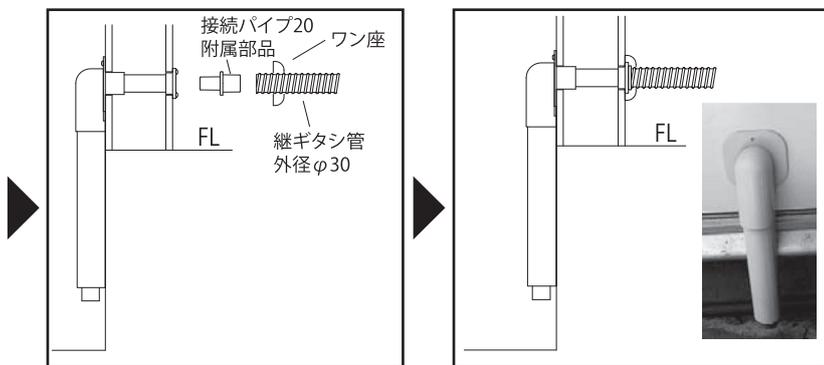
■ 壁にオーバーフロー排水管を新設する場合

既設のオーバーフロー排水管が使えないとき、屋外に面した壁に設けてください。オーバーフローの内径は、約φ20以上必要です。

【例1】別売品の壁オーバーフロー排水部品セット／AP-800を使って施工する場合

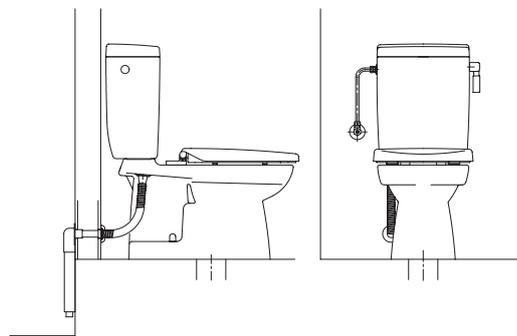


- ① φ35ホルソーで壁に穴を貫通してください。
- ② メジャー（スケール）を穴の中に入れてAの壁厚寸法を計ってください。
- ③ 配管カバーの片方をネジ止めしてください。ネジは下穴φ3～3.5を開ければコンクリートにも止められます。
- ④ A-23 長さは、A（壁厚）から23mmを引いた長さにカットしてください。VP20 エルボに塩ビ用接着剤で塩ビ管を接着してください。
- ⑤ 配管カバーを取り付けてください。はめ込むだけです。
- ⑥ 室内から口金内側に接着剤をつけて取り付けてください。石膏ボードの場合、ネジを軽く締めてください。



- ⑦ 継ぎタシ管にワン座を通して接続パイプを接着取り付けしてください。
- ⑧ 接続パイプを塩ビ管に接着取り付けしてください。
- ⑨ ワン座を壁に付けます。

【注意】
漏水検査を行ってください。

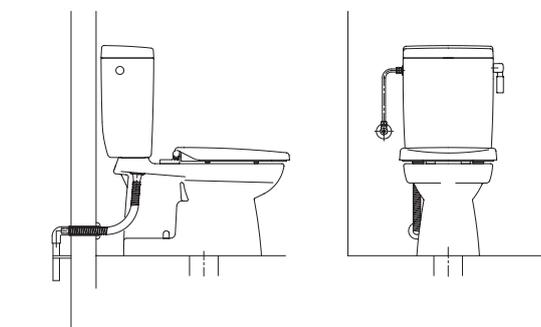
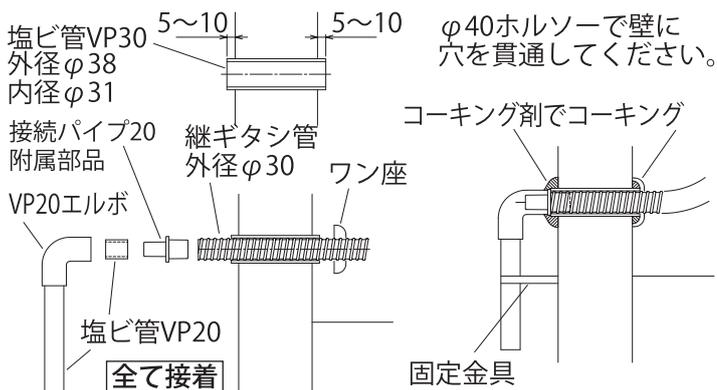


■ 別売品

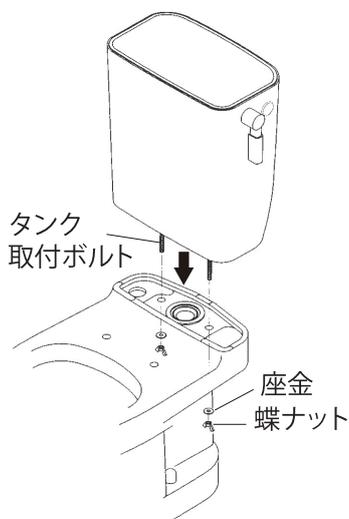


壁オーバーフロー排水部品セット AP-800

【例2】塩ビ管を露出配管して施工する場合



ロータンクの取付



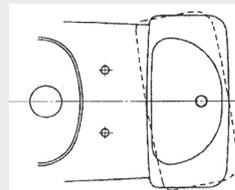
- ①便器にタンクをのせてください。
- ②蝶ナットと座金で締め付けてください。
片方を一気に締め付けしないでください。
- ③締め付後、タンクにガタツキがないことを確認してください。

[注意]

- ・タンクの締め付けは、ロータンクを軽く動かしてガタツキがなくなるまで締め付けてください。締め付けが弱いと漏水して床を濡らす原因となります。
- ・必要以上に締め付け過ぎると、陶器が割れますのでご注意ください。
- ・ロータンクの取付ボルトを便器に差し込むとき、ボルトを便器に当てないようにゆっくりと差し込んでください。陶器が破損する恐れがあります。

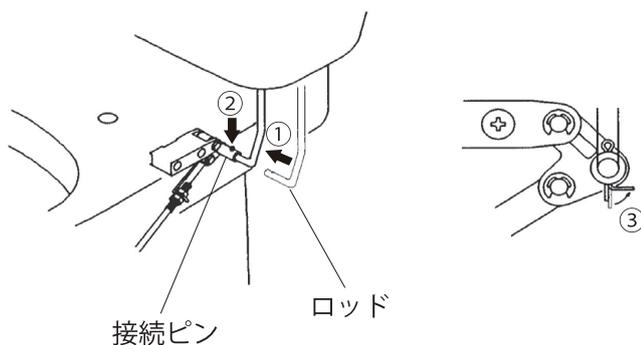
[注意] FZ300

取付後、必ずフタにガタツキがないことを確認してください。
蝶ナットの締め付け過ぎによってタンクがゆがみ、フタが合わなくなります。



ロッドの接続

- ①付属の割りピンを取り外し、ロッドと接続ピンの穴を合わせてください。
- ②割りピンを穴に差し込んでください。
- ③割りピンの先端をペンチ等で広げてください。



[注意]

必ず、割りピンの先端を広げ、ロッドが
抜けを確認してください。抜けると、
レバーハンドルを操作してもフラッパー
バルブが開きません。

止水栓位置と給水管長さの確認

■ フレキシブル管の場合



止水栓位置を確認し、フレキシブル管の長さは「H寸法」を測定してください。フレキシブル管は「フレキパイプ」「ブレードフレキ」や、「フレキチューブ」「ベンリーカン」「ベンリーフレキ」などの品名で、ホームセンターなどで販売しています。サイズは「呼び13」を使用してください。長さは「H寸法」に近いものをお使いください。

50・100mm間隔が一般的な長さですが、お店によって置いている長さが違います。

新しい便器を設置前に「H寸法」は出せますが、便器を設置した後に「H寸法」を測定してフレキシブル管を購入、取り付けするほうが正確に寸法を出せるので、こちらをオススメします。専用のパイプカッターやツバ出し工具をお持ちの場合は、長さを合わせて加工してください。



■ 給水L管の場合

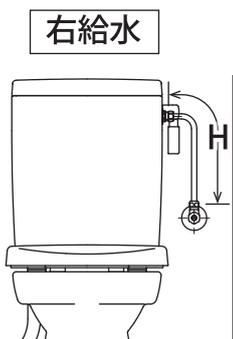
トイレ新設の場合は、アングル止水栓にすることで、配管をきれいな仕上がりにすることができます。



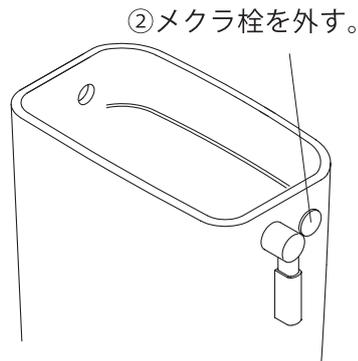
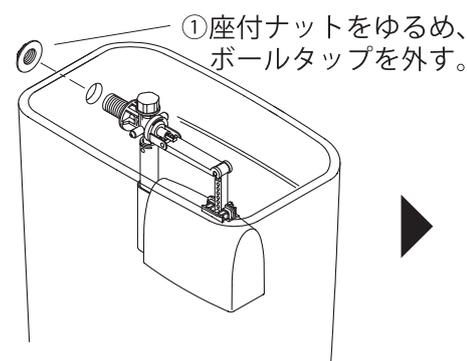
■ 別売品

アングル止水栓
AP-300/95 (FZ500・400用)
AP-300/80 (FZ300用)

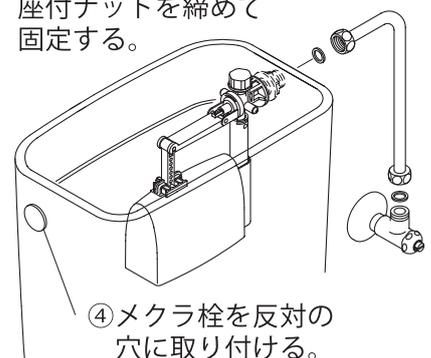
■ 右給水の場合



製品出荷状態は「左給水」となっています。ボールタップを右に付け替えることで「右給水」にできます。



③右の穴にボールタップを差し込み、座付ナットを締めて固定する。



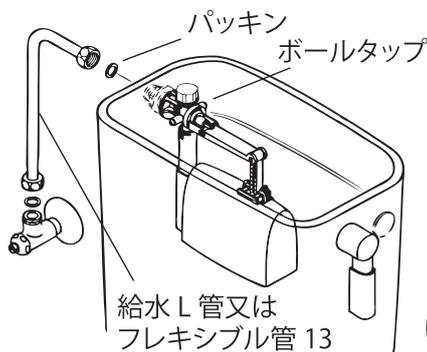
！必ず実行

止水栓からロータンクのボールタップまでの給水管は、揺らしても漏水がないよう確実に配管してください。特に、アングル止水栓で配管されるとき、給水L管(サプライ管)のツバのない止水栓側の接続には注意してください。

直圧がかかっている水道配管のため、漏水した場合、家財を濡らす原因となります。また、給水L管の止水栓側の差込が少ないと配管が抜け、家財を濡らす原因となります。

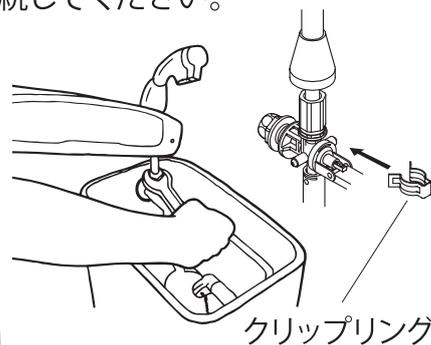
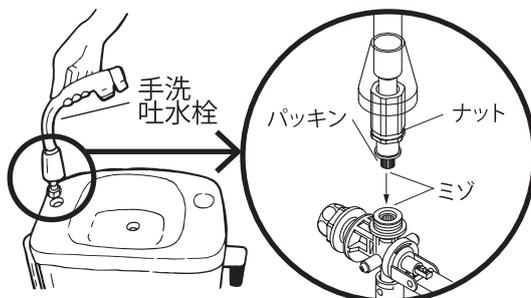
給水管の接続

アングル止水栓（別売品）を取り付け、給水管をボールタップに接続してください。



手洗吐水栓付の場合

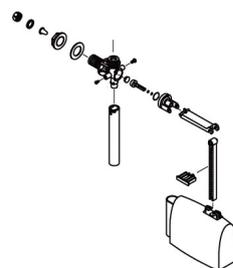
ロータンクのカバーをかぶせ、吐水の方向がフタの中央になるようにミゾを合わせます。フタを持ち上げナットを締め付けてください。



[注意]

金属製ナットのネジと樹脂のネジを水平にして手締めでねじ込み、最後にスパナで締め付けるようにしてください。斜めにねじ込むと、ネジ山を傷めたり、ネジがなめる原因になるため、慎重に作業を行ってください。ネジがなめると漏水の原因となります。その場合は、部品交換をしてください。

交換部品



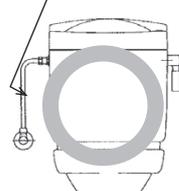
ボールタップ DK(手付) A12208

[注意]

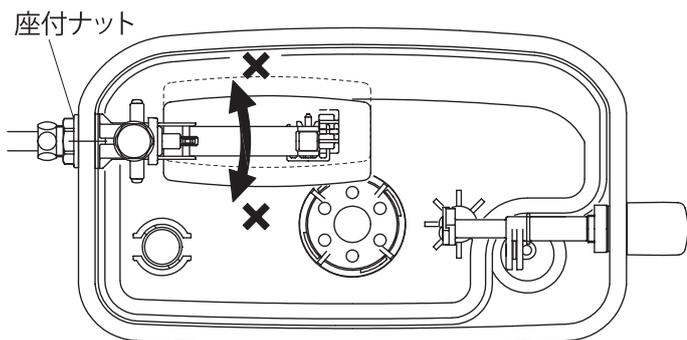
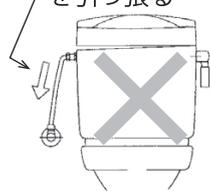
FZ300

給水管（フレキ管）の無理な接続はしないでください。ロータンクに力が加わり、タンクが変形してフタにガタツキが生じます。

給水管（フレキ管）



給水管がタンクを引っ張る



[注意] ボールタップ取り付け上の注意

ボールタップを右給水にする時や外して再度取り付ける時、必ず、**ロータンクの水がない状態**で行ってください。ロータンクに水がある状態でボールタップを斜めにして浮玉（フロート）の中に水が入るように取り付けると、止水なくなりオーバーフローしてしまいます。

！必ず実行

給水管の接続の際、ボールタップの浮玉が上下、左右に動くことを確認してください。給水管の袋ナットを締め付けるとき、ボールタップが共回りして浮玉がタンク壁に当たり動かなくなります。その場合、水が出続けます。万一、オーバーフローしきれないときは、家財を濡らす原因となります。ボールタップを真っすぐ直し、座付ナットを締めます。

普通便座・暖房便座・洗浄便座の取付

製品についている説明書を読んで取り付けてください。

調整と点検

ボールタップの水位調整、止水栓でボールタップの水勢調整を行ってください。

レバーハンドルを操作し、フラッパーの開閉や洗浄水の流れ状態、各部の漏水の有無を点検してください。

〈水位調整〉

▲ 水位を上げる
上から10番目までの穴で水位調整を行ってください。

▼ 水位を下げる
上から11番目の穴より下の穴は絶対に使わないでください。
浮玉が吐水管から外れて水が止まらなくなります。

ロータンク内の水位を調整してください。
①固定ピンの爪を広げて水位調整軸の穴から外す。
②浮玉を上下に移動する。穴ピッチ 6mm
③固定ピンを穴に差し込む。

水位はオーバーフロー管上端から約 20mm に調整してください。

〈タンク溜水水勢の調整〉

手で浮玉をボールタップが全開になるまで押し下げて、オーバーフロー管へ水をあふれさせます。このとき、水面がオーバーフロー管より約 10mm 以上上昇しないように、止水栓の開閉を必ず調節してください。
調節しないと、故障の時オーバーフローしきれず、ロータンクから水があふれ、床が水浸しになります。

No.	チェック項目	結果
①	止水栓からの漏水はありませんか？	
②	ボールタップは止水されていますか？	
③	便器とロータンクからの漏水はありませんか？	
④	ロータンクバルブから便器への漏水はありませんか？	
⑤	フラッパーの漏水はありませんか？（洗浄ボウル面の水位は下がっていませんか？）	
⑥	床への漏水はありませんか？	

引き渡し

取扱説明書に従って取扱方法をお客様にご説明ください。

施工説明書、取扱説明書、保証書（別添付）に必要事項を記入し、お客様にお渡しください。

施工日	施工店名	担当者



営業本部 福岡市中央区白金 1-13-1 DKビル
〒810-0012 TEL092 (521) 1800

アフターメンテナンス窓口 福岡県太宰府市大字北谷夕内 1123
〒818-0014 TEL092 (921) 7770